



# みささ

「みのりある学び」と

「さわやかな仲間」は

「最適な環境」から

令和5年12月1日No.44

文:岡本勇人



## 三朝町立三朝中学校 学校だより

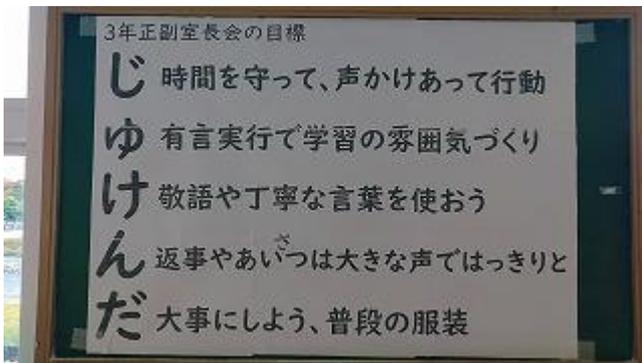
「寒い師走のスタートになりました。」とアナウンサーの第一声。車内の気温がなかなか上がらないので、そうなんだろうと感じていました。

町内某所 7:00。0℃。間違いなく"寒い師走初日"。



「みのりある学び」×「さわやかな仲間」×「最適な環境」  
×「生徒会活動」×「自治力」×「自己指導能力」

### ◆ じゅ(ゆ)けんだ!?



今年も残すところ1ヶ月、"三朝中学校生徒～"と言われるのも4か月となります。トイレ前学年掲示板に大きく張り出されています。"受検(験)は団体競技・チームプレイ"などと表現されることがあります。

"声をかけあって・雰囲気づくり"は、一人ではできないことがあります。"守って・使おう・はっきりと"などは、いつでもどこでも誰もが大切にしていることです。

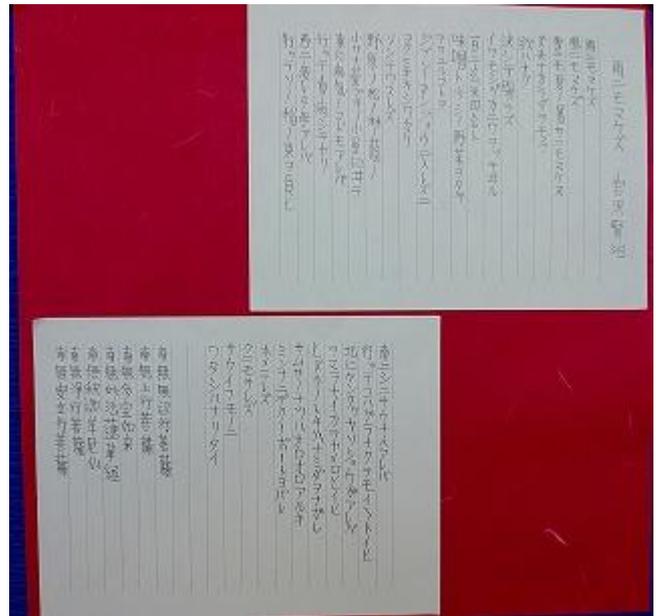
"志を立て、目標をもって努力する者、必ずことを成す"ここに至るまで、何個の"小さな目標"をクリアできたでしょうか。

「みのりある学び」×「さわやかな仲間」×「最適な環境」  
×「詩」

### ◆ 雨ニモマケズ

風ニモマケズ～いわずと知れた、"雨ニモマケズ

"(作:宮沢賢治)です。この詩は「サウイウモノニワタシハナリタイ」と結ばれます。この詩で作者が言いたかったことは本人しかわかりません。しかし、こう考えられる気がします。"強くて、おだやかで、質素で、かしこく、優しく、社会貢献できる理想的な人でありたい"ということでしょうか。絶えず意識しながら生活したいものです。(2F廊下に掲示中です。)



「みのりある学び」×「さわやかな仲間」×「最適な環境」  
×「自己評価ノート」×「生徒指導提要」

### ◆ 自己評価・自己指導…

「生徒指導提要」は、生徒指導に関する学校・教職員向けの基本書として文科省が中心となって作成したものです。その中に"自己"を使った単語が196回出てきます。自己=自分自身は理解しているつもりですが、自分には優しく他人には厳しく!?なることがあります。"自己評価"に必要なのは、一定の基準・規準で客観的に自分自身を見る(メタ認知)ことです。ノートに書くことで"見える化"ができています。

